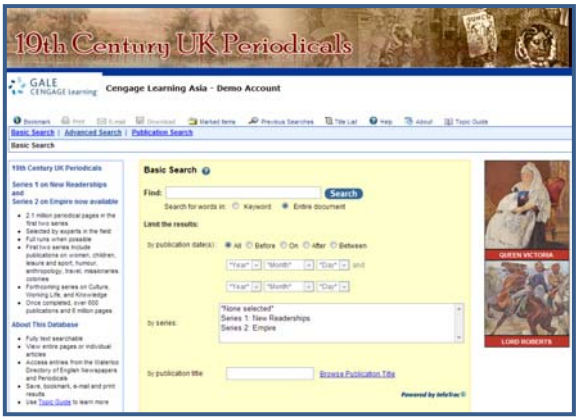
19 世紀イギリス雑誌コレクション集成 ウェブ版
パート 1ー新しい読者層:女性誌、児童誌、諷刺雑誌、スポーツ娯楽誌
19th Century UK Periodicals
Part I: New Readerships: Women's, Children's, Humour and Leisure/Sport

センゲージラーニング株式会社



本データベースは、19 世紀にイギリス本国と海外植民地で刊行された夥しい数の雑誌の中から学術的価値の高いものを精選し、電子化してページイメージにて提供するものです。現在パート 2 までリリースされていますが、パート 1 では「新しい読者層」というテーマの下に 90 タイトルの雑誌が選ばれています。収録されているのはすべて 19 世紀に創刊された雑誌です。中には 20 世紀まで発行が続いたものもありますが、収録されている記事は 1900 年までです。収録された雑誌の多くは、発行後、マイクロフィルムや紙媒体で復刊されたことのないものです。そのため本データベースは、19 世紀イギリスの雑誌をまとまった形で提供するコレクションとしては随一のものです。

19 世紀イギリスで発行された雑誌の中でとりわけ特徴的だったのは、女性誌の流行です。ファッション雑誌、家事雑誌から女性の権利伸張を目指す政治的な雑誌まで、この時代の女性誌の隆盛には目を瞠るものがあります。その多くは 20 世紀の女性誌のスタイルを先取りするものでした。

また、識字率の上昇を背景に少年少女向けの雑誌も多数刊行されました。スリルを売り物にする雑誌から教育的な志向の強い雑誌まで、多様な雑誌があったことは、児童に何を提供すべきかという今日的な問題が、すでにこの時代においてジャーナリズムのテーマだったことを示しています。

ヴィクトリア朝を語る際、諷刺画を取り入れた雑誌を忘れることはできません。Punch をはじめとする諷刺画雑誌は、ヴィクトリア朝の時代精神を読み解く格好の資料です。

世紀後半における大衆レベルでのスポーツの流行を反映して発行されたスポーツ娯楽誌は、19 世紀イギリス文化の裾野の広がりを示しています。

◆主要収録雑誌◆

【女性誌】

- ✓ **Alexandra Magazine and Woman's Social and Industrial Advocate**
  (continued as Alexandra Magazine and Englishwoman's Journal) (1864-65)
  イギリス初のフェミニスト系雑誌。English Woman's Journal の編集者ベシー・パークス(Bessie Parkes)が同誌より低価格の雑誌として発刊。

- ✓ **Atalanta** (1887-98)
  少女・若い女性向け。文芸評論や日常生活全般にわたる専門家による助言を掲載。

- ✓ **Belle Assemblée, Le or, Bell's court and fashionable magazine addressed particularly to the ladies**
  (continued as Court Magazine and Belle Assemblée, Court Magazine and Monthly Critic, Court Magazine and Monthly Critic and Ladies' Magazine and Museum of the Belles Lettres) (1806-48)
  19 世紀前半では最も重要な高級女性ファッション誌。ロンドン出版界の雄ジョン・ベル(John Bell)が発刊。ロンドン、パリのモードに加え、文化芸術、文芸、科学、上流社会のゴシップ記事を掲載。現代の女性誌の原型。

©KINOKUNIYA COMPANY LTD.

✓ **British Mothers' Magazine**
(continued as British Mothers' Journal and British Mothers' Family Magazine) (1845-64)
アメリカの姉妹誌"Mother's Magazine"とともに、福音主義キリスト教母の会関係の記事を掲載。

✓ **Englishwoman's Domestic Magazine**
(continued as Illustrated Household Journal and Englishwoman's Domestic Magazine) (1852-81)
大衆女性誌の嚆矢。発行者はサミュエル・ビートン(Samuel Beeton)。イザベラ・ビートン夫人による料理コラムは、後に『家政読本(Book of Household Management)』として刊行され好評を博する。パリ・モードの紹介にとどまらず、型紙を付録としたことでも有名。家政とファッション記事、読者参加型スタイル、女性解放へのリベラルなスタンスという定型は、20 世紀女性誌の先駆となった。

Receipts for Cookery.

THINGS IN SEASON.

Fish.—Brill, carp, cod, crabs, dabs, dory, eels, haddocks, ling, lobsters, flounders, mackarel, mullet, salmon, perch, pike, plaice, prawns, shrimps, skate, smelts, soles, sprats, tench, turbot, whitings.

Meat.—Beef, mutton, veal, grass-lamb, pork, venison, brawn.

Poultry.—Chickens, fowls, pullets, tame pigeons, rabbits and ducklings.

Vegetables.—Cauliflowers, asparagus, carrots, lettuces, peas, potatoes, radishes, sea-kail, parsley, parsnips, cucumbers, spinach and celery.

Vegetable Soup.—Take two pounds of Jerusalem artichokes, pared and halved, and one pound of turnips, also pared and sliced; two or three good-sized onions, and a stick of celery; add two quarts of cold water, and boil all together slowly for more than two hours; then add two large tablespoonfuls of flour, an ounce of dripping, with pepper and salt to the taste, and

ビートン夫人の料理コラム

✓ **Englishwoman's Review, The: a journal of woman's work**
(continued as Englishwoman's Review of Social and Industrial Questions) (1866-1900)
フェミニスト・グループのランガム・プレイス(Langham Place)サークルのメンバーが発行。商業誌とは一線を画し、小説や詩は掲載せず、もっぱら政治的な記事に終始。

✓ **Follet** (1846-1900)
同名のフランスのファッション誌の英語版。アッパークラスの読者に最新パリ・モードを紹介。文学欄も充実。

✓ **Hearth and Home** (1891-1900)
ミドルクラスの主婦を読者とする家事全般を扱う。

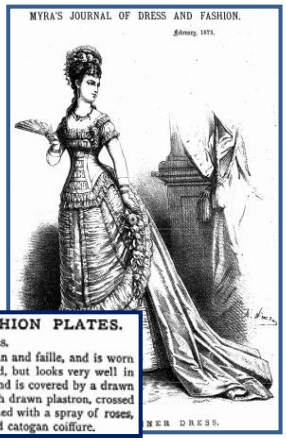
✓ **Judy, or the London Serio-Comic Journal** (1867-1900)
主として女性読者向けの諷刺画誌で Punch のライヴァル誌。アリー・スローパー(Ally Sloper)というキャラクターでも有名。

✓ **Ladies' Cabinet of Fashion, Music and Romance** (1832-70)
高級女性ファッション誌。

✓ **Ladies' Treasury, The. An illustrated magazine of entertaining literature** (1858-95)
ミドルクラスの女性向けの月刊画報。"English Domestic Magazine"のライヴァル誌。

✓ **Monthly Packet of Evening Readings for Younger Members of the English Church** (1851-99)
若い女性に宗教の教えを広めるために創刊された。作家シャーロット・ヤング(Charlotte Yonge)が編集に携わり、みずから作品を発表。

✓ **Myra's Journal of Dress and Fashion** (1875-1900)
イザベラ・ビートン夫人亡きあと、サミュエル・ビートン発行の女性誌のコラムを担当していたマティルダ・ブラウン(Matilda Browne)が、ビートンの助力を得て創刊したファッション雑誌。一人称で店舗や商品を紹介するスタイルは記事広告のさきがけとなる。健康、美容、ファッションに関するアドバイスはミドルクラスの女性から広く支持を集めた。フランス人ジュール・ダヴィッド(Jules David)の原画の複製を含むファッション・プレートでも有名。


MYRA'S JOURNAL OF DRESS AND FASHION.

DESCRIPTION OF THE FASHION PLATES.

Lady's Dinner Dress.

This elegant toilette is composed of tarlatan and faille, and is worn over silk; the train may be of silk if wished, but looks very well in tarlatan. The front is of drawn bouillons, and is covered by a drawn tarlatan tunic, forming a tablier. Corsage with drawn plastron, crossed by faille bands, laced at the back, and trimmed with a spray of roses, matching those on the skirt. Long gloves and catogan coiffure.

ファッション・プレートとプレートの解説
ファッション・プレートは、ファッションを視覚的に取り上げた図版で、モード新聞に添えられた。18 世紀末にヨーロッパで登場。

©KINOKUNIYA COMPANY LTD.

- ✓ **Shield, The; the Anti-Contagious Diseases Acts Association's weekly circular** (1870-1900)
  女性国民連盟(Ladies' National Association)より創刊。公娼制度を承認する性病法(Contagious Diseases Act)の制定を機にその廃止を訴えた。ジョセフィーン・バトラー(Josephine Butler)が編集に携わる。

- ✓ **Woman at Home, The; Annie S. Swan's magazine** (1893-1900)
  ミドルクラスの女性向け雑誌。記事の大半は連載小説。読者の投稿を取り上げ、助言を与えるアニー・スワンのコラムでも有名。

- ✓ **Women and Work; a weekly industrial, educational, and household register for women** (1874-76)
  女性の労働環境改善の一環として印刷所ヴィクトリア・プレス(Victoria Press)を経営するエミリー・フェイスフル(Emily Faithful)により発行された雑誌の一つ。

- ✓ **Women's Penny Paper** (continued as Women's Herald and Woman's Signal) (1888-99)
  ジャーナリストのヘンリエッタ・マラー(Henrietta Muller)が雑誌における女性問題の扱いの少なさに業を煮やして創刊した女性問題専門誌。

- ✓ **Women's Union Journal, The; organ of the Women's Protective and Provident Association** (continued as Quarterly Report and Review and Women's Trade Union Review) (1876-1900)
  女性労働組合連盟(Women's Trade Union League)の機関誌。女性の心身の健康のために水泳プールの設置キャンペーンを展開。

- ✓ **World of Fashion and Continental Feuilletons** (continued as Ladies Monthly Magazine, The. The World of Fashion and Monde Élégant, Le; or the World of Fashion) (1824-91)
  ファッション・プレートを掲載。当初はウィリアム・ウルフ・アライス(William Wolfe Alais)の原画などフランスから輸入したものを使用したが、次第に自前のプレートを使うようになる。

【児童誌】

- ✓ **Boys of England. A magazine of sport, sensation, fun, and instruction** (continued as Boys of England and Jack Harkaway's Journal for Boys and Up-To-Date Boys' Journal & Novelettes) (1866-1900)
  ヴィクトリア朝の少年誌の中で最も人気が高く、成功した雑誌の一つ。スリル満点の物語、迫力ある実話、活発な投書欄、目を引く表紙画という少年誌の定型は、この雑誌に始まる。

- ✓ **Boy's Own Magazine** (continued as Boys Own Volume and Boy's Own Magazine, Beeton's Fact, Fiction etc) (1855-74)
  サミュエル・ビートン発行の少年誌。少年誌の中で初めて成功を収めた。啓蒙的な記事と少年の心を躍らせる物語の組み合わせが特徴。キリスト教の教えを基調とする。

- ✓ **Boy's Own Paper** (1879-1900)
  ヴィクトリア朝の少年誌の代表的存在。"Boys of England"よりも健全な少年誌が必要だと感じた宗教叢書教会(Religious Tract Society)が発行。ミドルクラスを支配していた帝国主義や自由主義等の価値観を擁護(次ページ図左)。

©KINOKUNIYA COMPANY LTD.

- ✓ **Children's Friend** (1824-1900)
  福音国教会の家庭の子供向けの雑誌として来世の報いへの信仰を説く。

- ✓ **Child's Companion, The; or Sunday Scholar's reward**
  (continued as s Child's Companion and Juvenile Instructor) (1824-1900)
  福音主義系の宗教叢書協会が子どもの宗教モラルの向上を目的として発行。

- ✓ **Girls' Own Paper** (1880-1900)
  廉価大衆紙の有害な影響を削ぐために宗教叢書協会により発行された"Boys' Own Paper"の姉妹誌。19 世紀末に最も成功した少女誌の一つ(下図中)。

- ✓ **Good Words for the Young** (continued as Good Things for the Young of all Ages) (1868-77)
  子ども向け読み物全般を提供。

- ✓ **Our Young Folk's Weekly Budget**
  (continued as Young Folk's Weekly Budget, Young Folk's Budget, Young Folk, Young Folks Paper, Old and Young and Folks-at-Home) (1871-97)
  後期ヴィクトリア朝の少年少女雑誌。主な内容は連載冒険小説。スティーヴンスンの『宝島』も元々は本誌に"Captain George North"のペンネームで連載された(下図右)。

- ✓ **Union Jack, The. Tales for British Boys** (1880-83)

  少年向け冒険小説、悪漢小説を掲載。同時代の帝国主義、好戦的気分を背景に、少年に男の理想と義務とは何かを示した。ジュール・ベルヌ(Jules Verne)、ロバート・バランタイン(Robert Ballantyne)らの作家が寄稿。

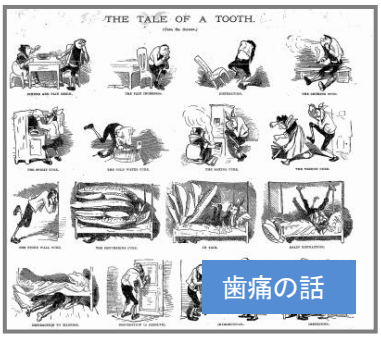
【諷刺画誌・ゴシップ誌】

- ✓ **Age** (continued as continued as Age and Argus and English Gentleman) (1825-46)
  保守系雑誌として、ウイッグ、カトリック、改革法案、反穀物運動、その他急進主義を攻撃。スキャンダルの暴露で部数を伸ばす。

- ✓ **Figaro in London** (1832-39)
  1830年代に成功した漫画週報。30年代の急進ジャーナリズムの一翼を担う。その読者の市場はPunchに受け継がれた。

- ✓ **Fun** (1861-1900)
  ストーリーを一連のコマ形式で伝えるコミック・ストリップを初めて取り入れる。ヴィクトリア朝の挿絵入り雑誌としてはPunchに次ぐ位置を占める。

©KINOKUNIYA COMPANY LTD.



- ✓ **Funny Folks; a weekly budget of funny pictures, funny notes, funny jokes, and funny stories** (1874-94)
  イギリス初の漫画紙。若きアルフレッド・ハームズワース(デイリー・メール紙の創業者)もフリーのライターとして寄稿。20 世紀イギリス漫画の原型を形作った。
- ✓ **John Bull** (1820-1900)
  保守系雑誌。創刊年に行われたキャロライン王妃の離婚裁判では、メディアの大勢が王妃を擁護した中で国王を支持。ウイッグと急進派に対する攻撃でも有名。
- ✓ **Punch, or the London Charivari** (1841-1900)
  言うまでもなく、19 世紀イギリスの諷刺漫画雑誌を代表する雑誌。ヴィクトリア朝期に刊行された夥しい数の雑誌の中でも、ヴィクトリア朝の時代精神を知る上で最適の雑誌でもある。
- ✓ **Satirist, The; or Censor of the Times** (1831-49)
  スキャンダル、ゴシップ記事を主に扱う。Age, John Bull と同系統のスキャンダル・ジャーナリズムの代表誌。
- ✓ **Tomahawk, The: a Saturday journal of satire** (1867-70)
  保守系論壇誌。ヴィクトリア女王の批判も辞さなかったことで有名。

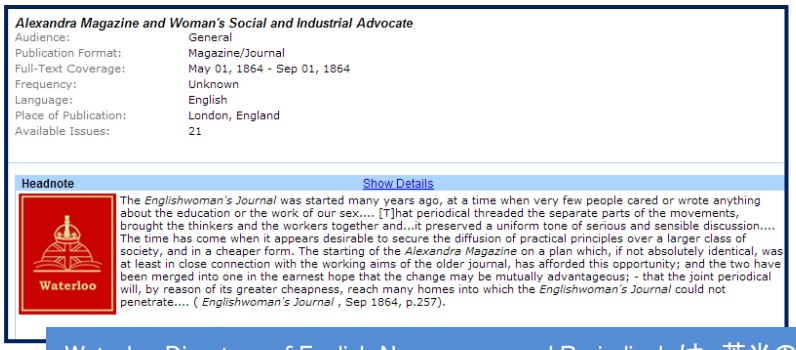
【スポーツ娯楽誌】

- ✓ **Baily's Monthly Magazine of Sports and Pastimes, and Racing Register** (continued as Baily's Magazine of Sports and Pastimes) (1860-1900)
  試合結果、読者からの投稿、選手の紹介など、スポーツ全般の記事を掲載。
- ✓ **Bell's Life in London and Sporting Chronicle** (1822-86)
  スポーツを主要記事とした最初の雑誌。寄稿者にはディケンズ、トマス・フッド(Thomas Hood)、ウィリアム・ハウィット(William Howitt)らが名を連ね、クルックシャンク、ロバート・シーモア(Robert Seymour)、ジョン・リーチ(John Leech)らが挿絵に腕を揮った。低価格路線を行く大衆紙だったが、アッパークラスとミドルクラスからも読まれた。19 世紀イギリスのスポーツ文化を知る上で、信頼できる情報源の筆頭。
- ✓ **Fishing Gazette** (1877-1900)
  釣り愛好家の雑誌。あらゆる階層から読者を集めた。
- ✓ **Golf** (continued as Golf Illustrated) (1890-1900)
  ゴルフ愛好家の雑誌。競技大会リスト、競技結果の他、ゴルフを題材にした小説を集めた”Tee Shots”という欄も。
- ✓ **Horse and Hound** (1884-1900)
  競馬、競争馬の売買、飼育、牧場など馬の記事の他、スポーツ記事も。
- ✓ **Racing Times** (1851-68)
  当初は競馬雑誌としてスタートしたが、後にラグビー、水上競技、オックスフォード・ケンブリッジ対抗試合などまで幅を広げる。大衆的人気はなかったものの、ジェントルマン層の支持を集めた。
- ✓ **Sporting Gazette** (continued as Sporting Gazette and Agricultural Journal and County Gentleman, Sporting Gazette and Agricultural Journal) (1862-1900)
  タイトルの変更はスポーツ・ジャーナリズムの市場が都市から農村へ広がったことを示している。
- ✓ **Sporting Times** (1865-1900)
  競馬の他、文芸、演劇記事が充実。

©KINOKUNIYA COMPANY LTD.

◆収録雑誌の選定方法◆

収録雑誌の選定には、Wellesley Index to Victorian Periodicals, Waterloo Directory of English Newspapers and Periodicals、Cambridge Bibliography of English Literature 3rd ed.のような書誌、ダイレクトリーの他、図書館目録を基にマスターリストを作成し、編集諮問委員によって、雑誌の影響力と学術的重要性を基準に、最終的に収録タイトルが選ばれました。



Waterloo Directory of English Newspapers and Periodicalsは、英米の図書館に所蔵されている雑誌の原本に当たって確認するという長年に亘る作業の結果、完成した定期刊行物のダイレクトリーです。創刊者名、編集者名、編集方針、刊行頻度、印刷部数、発行部数、価格、誌名変遷、ページ数や欄の数などを記録し、この種のものとしては最も信頼できる情報源と見なされています。本データベースに収録された雑誌の各種データは、このダイレクトリーに依拠しています。また、収録雑誌毎に、”Headnote”として本ダイレクトリーを出所とする解説記事が掲載されています。

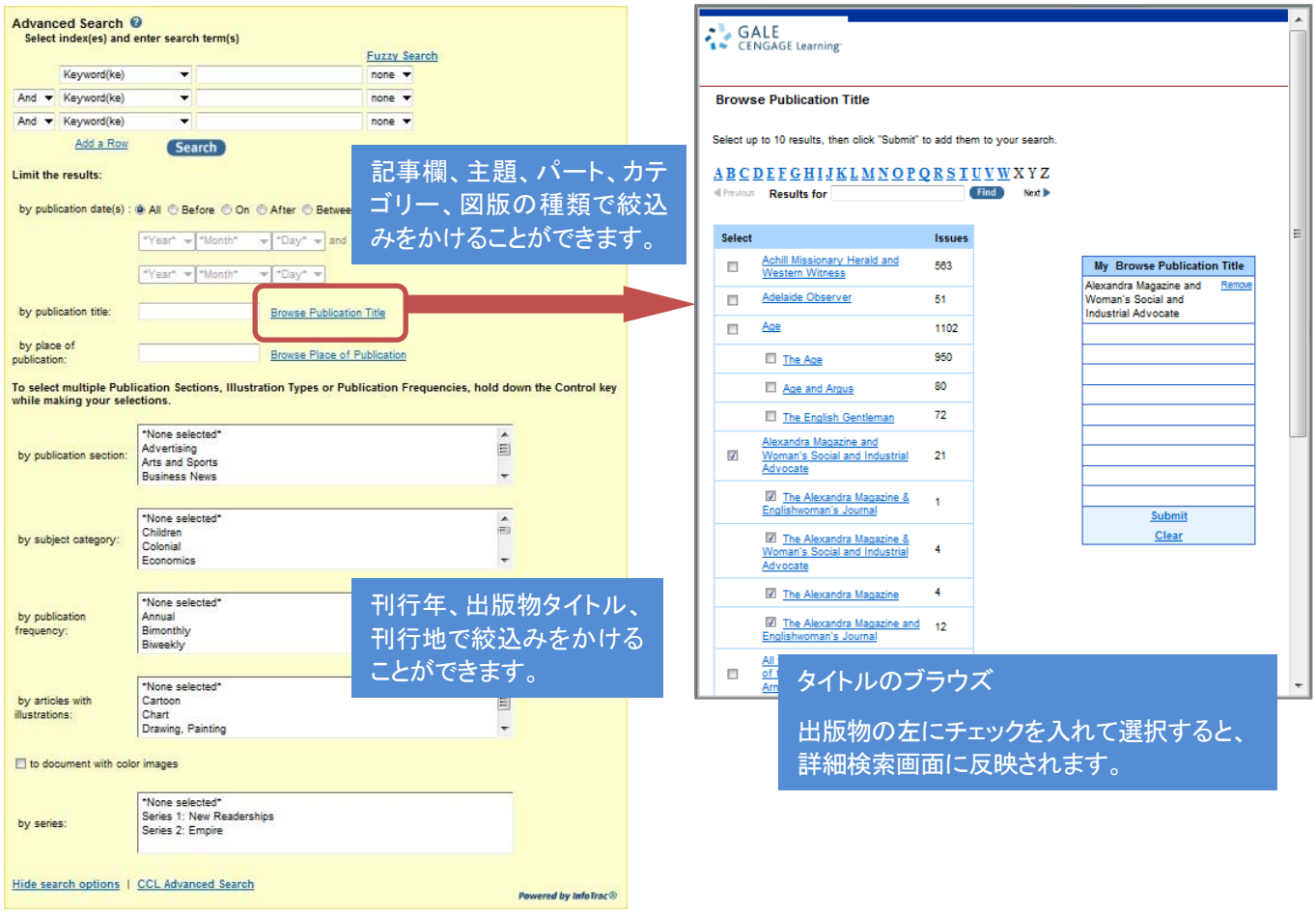
【編集諮問委員】

- ✓ Professor Joanne Shattock, University of Leicester (Series Editor)
- ✓ Professor Tim Alborn, Lehman College, CUNY
- ✓ Professor Peter Bailey, University of Manitoba
- ✓ Margaret Beetham, Manchester Metropolitan University
- ✓ Professor Clive Behagg, University College Chichester
- ✓ Robert Bud, Science Museum
- ✓ Dr. Diana Dixon, University College London
- ✓ Professor Felix Driver, Royal Holloway College
- ✓ Dr. Maire ni Fhlathuin, University of Nottingham
- ✓ Dr. Nicholas Hiley, University of Kent
- ✓ Dr. Leslie Howsam, University of Windsor, Ontario
- ✓ Professor Russell Jackson, University of Birmingham
- ✓ Dr. Leanne Langley, Goldsmiths, University of London
- ✓ Dr. James Livesey, University of Sussex
- ✓ Reverend John Lowerson, University of Sussex
- ✓ Dr. Peter Mandler, University of Cambridge
- ✓ Professor Simon McVeigh, Goldsmiths, University of London
- ✓ Professor Richard Price, University of Maryland
- ✓ Professor Solveig Robinson, Pacific Lutherian University
- ✓ Dr. Jonathan R. Topham, University of Leeds
- ✓ Professor Shearer West, University of Birmingham
- ✓ Dr. Richard Whatmore, University of Sussex

©KINOKUNIYA COMPANY LTD.

◆インターフェイス◆

【詳細検索画面】



【出版物検索画面】

©KINOKUNIYA COMPANY LTD.

【ページ表示画面】

表示している記事が、検索でヒットした95,307 件のうちの 1 件目の記事を含むページイメージであることを示しています。Next”をクリックすると、次の検索結果の記事を含むページイメージに進むことができます。

本号が 11 ページあり、その 1 ページ目を表示していることを示しています。”Next”をクリックすると、次のページに進むことができます。

【記事表示画面】

ブックマーク・印刷・e メール送信・ダウンロード・マーク機能

記事の書誌とカテゴリー

拡大・縮小機能

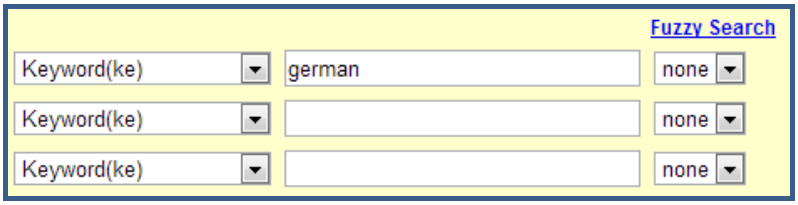
「記事内」、「号内」、「出版物内」を選び、フルテキスト検索。

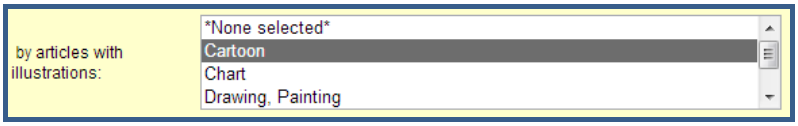
©KINOKUNIYA COMPANY LTD.

◆検索例◆

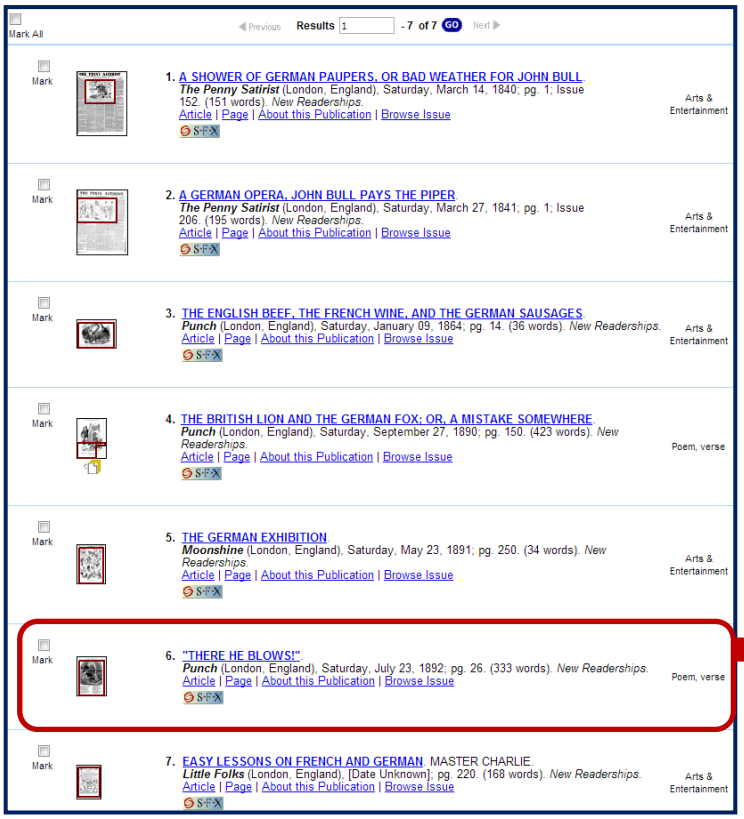
【テーマ:ドイツ人に対する諷刺画】

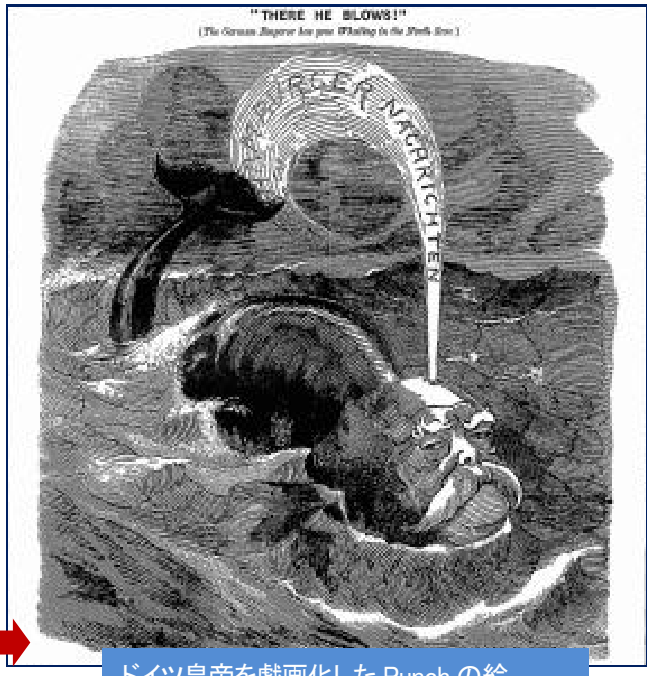
詳細検索画面で、検索対象に”keyword”を選び、”german”と入力し、記事欄に”Arts and Sports”、図版の有無に”cartoon”を選び、検索を実行します。





7 件ヒットします。





ドイツ皇帝を戯画化した Punch の絵
(Punch, July 23, 1892)

掲載商品のすべてのコンテンツと機能をお試しいただける１ヵ月の無料トライアルを受け付けております。
掲載の商品・サービスに関するお申し込み、お問い合わせは、株式会社 紀伊國屋書店 電子商品営業部
(電話:03-6910-0518、ファクス:03-6420-1359、e-mail:online@kinokuniya.co.jp) までお願い致します。
お預かりした個人情報は、弊社規定の「個人情報取扱方針」http://www.kinokuniya.co.jp/06f/gaiyo6.htm に則り、取り扱わせて頂きます。

©KINOKUNIYA COMPANY LTD.